

5.17

■司会 樋田 京子〈福岡県〉 福岡県教育庁教育企画部生涯学習課主任社会教育主事  
後藤美智江〈福岡県〉 福岡県立社会教育総合センター学習ボランティア「若杉の会」

## 1. 青少年教育施設における学社融合授業の実践的研究 9:00～9:25

岡崎 尚之〈福岡県〉 福岡県立社会教育総合センター指導主事

子どもたちに「生きる力」を育むためには、家庭・学校・地域社会が十分に連携・融合し、バランスのよい学習の機会を提供することが大切である。特に生活体験や自然体験等の活動が望まれている。福岡県立社会教育総合センターでは、「これからは地域も教室」をテーマに、地域の多様な人材や社会教育の事業・施設等を活用する各種体験学習プログラムを開発し、それを活用して学校の授業を行うなど学社融合の推進に取り組んでいる。

## 2. 小学生のサークル活動「わくわくウォッチング」の取り組みと課題 9:25～9:50

村川 直樹〈山口県〉 由宇町教育委員会生涯学習課派遣社会教育主事

学校週五日制の完全実施を間近に控え、地域において子どもたちが個性を發揮できるような活動の場をつくる必要性が高まっている。「わくわくウォッチング」は、そのようなモデルケースの一つとして、県の助成を受けて結成したサークルである。平成8年度より2年間、小学生十数名とスタッフが、自然体験や遊びを中心に取り組んできたサークル活動の内容・成果および今後の課題について発表する。

～ ティータイム ～

9:50～10:25

## 3. お話ボランティア講座 10:25～10:50

—心を育てる「本も友だち20分間運動」事業の取り組み—

古木 照代〈鹿児島県〉 市来町中央公民館係長

鹿児島県では、平成8年度から4年間にわたって心を育てる「本も友だち20分間運動」という事業が導入され、県下一斉にこの事業に取り組むことになった。この運動の主旨は、幼児からおとなまで本に親しみ、心の豊かさをとり戻そうというもの。子どもやおとなと本との橋渡しになろう、読書のきっかけづくりをしようと開設したお話ボランティア講座の取り組みを報告する。

## 4. 国境の町の「セゲ・ヌウン・ハナ」講座 10:50～11:15

—青少年の日韓交流で育つまち—

松村 義弥〈長崎県〉 上対馬町教育委員会派遣社会教育主事

上対馬町は日本と韓国の間位置し、国境の町として重要な役割を果たしてきた。その地理的・歴史的条件から一昨年より小・中学生・高校生・青年を対象に「セゲ・ヌウン・ハナ」講座を開いている。韓国の言葉や文化、ふるさとの文化・歴史等の学習、ホームステイによる体験学習を通して、21世紀の世界平和の一翼を担う人材が育つことを夢見ながら町全体で取り組んでいる活動について発表する。

## 5. 総括討論 11:15～11:40